

文献

🏠 文献解題データベース / 文献 / 歴史 / The Ethnic Cleansing of Palestine

The Ethnic Cleansing of Palestine

📅 2013年4月14日 🕒 2013年4月14日 👤 田浪 垂央江

歴史家イラン・パペが1948年のナクバに関してまとめた歴史書。タイトル通り、ナクバをパレスチナにおける「民族浄化」と捉え、それが偶然の積み重ねや場当たりの命令の結果として起きたのではなく、マスタープランが存在し、それに基づいてダレット計画が決定され、命令され実行されたことを明らかにしている。

本書で最も興味深いのは、マスタープラン決定に至るまでの経緯であろう。ベングリオン側の側近たちによる「顧問団」と呼ばれる集団が1947年10年頃までに形成され、ユダヤ国家を実現するための政策決定に関わっていた。民族浄化政策への異論を唱え、例えばパレスチナ人の分断統治を主張する者もいるなか、出来るだけ多くのパレスチナ人を無差別に追放する方向に向かう経緯が資料を駆使して具体的に明らかにされている。その結果、パレスチナ側の抵抗を引き出す挑発を行うのではなく無抵抗の村民を追放するというように戦術が変化してゆく経緯が、明確に描かれている。

ユーゴスラビア内戦によって人口に膾炙した「民族浄化」という言葉を使ってナクバを指し示す呼ぶことには、賛否両論があるだろう。しかし、「民族浄化」という言葉が実際に使われたということや、過去の記憶や出来事そのものの抹殺をともなった事態をナクバ（大災厄）と呼ぶのでは不十分であることだけでなく、あえて「民族浄化」として捉えることで新たに~~見えてくるものを~~まずは本書からじっくりくみ取るべきであろう。
(田浪)

著者: Ilan Pappé
出版社: Oneworld Publications
出版都市: Oxford
出版年: 2006
翻訳: 無し
言語: 英語

キーワード (3点以上、論文の場合は5点以内、本の場合は1点削10点以内)

ナクバ、歴史記述、民族紛争、民族浄化、新しい歴史家、Nakba, Historic Narrative, Ethnic Cleansing, New Historian

文献カテゴリ

歴史、イスラエル軍、オーラルヒストリー、パレスチナ/イスラエル紛争に関する報道、新しい歴史記述、1948年戦争(ナクバ/独立戦争)、ナクバ/独立戦争、軍政府(～1966)、破壊された村/パレスチナ難民の発生、ヨルダン・シオニスト関係、アラブ問題、ナクバ、シオニズム運動(テーマ別)、イスラエル政治史、ハガナー、イルグン(エツェル)、レヒ、イスラエル/パレスチナ共通、歴史記述の方法と諸問題、軍事・治安、ジャーナリズム・メディア

民族浄化
パレスチナ追放

!!

!!